



## 答え合わせ・解説

問1	答え 3 琵琶湖	「琵琶湖」は滋賀県にある日本最大の湖です。その広大な面積は、周辺の気候を穏やかに保つ働きもあります。琵琶湖から唯一流れ出る川が淀川であり、琵琶湖は近畿地方の人々の生活用水や工業用水、農業用水を供給する重要な水源として「近畿の水がめ」と呼ばれています。
問2	答え 1 断層湖	「断層湖」とは、地殻の断層運動に伴って地盤が沈下したり、隆起したりしたことで形成された窪地に水が溜まってできた湖のことです。琵琶湖は数百万年以上前から存在する「古代湖」の一つであり、その形成には激しい断層活動が深く関わっています。
問3	答え 1 中京工業地帯	中京工業地帯は、愛知県を中心とし、三重県の北部までを含みます。四日市市は特に有名で、石油化学コンビナートが集積し、石油製品の生産拠点となっています。自動車産業の集積が非常に強く、日本の輸出を支える重要な地域として知られています。
問4	答え 4 内陸性気候	海は温度が変化しにくいので、沿岸部は年間を通して気温が安定しますが、内陸部は陸地の影響を強く受けます。そのため、夏は酷暑で冬は寒さが厳しいという大きな気温の変化が特徴です。
問5	答え 1 大阪国際空港	大阪国際空港は、通称「伊丹空港」とも呼ばれます。かつては国際線の中心でしたが、現在は主に国内線の拠点として利用されています。滑走路が住宅街に近いという特徴があるため、騒音対策などの環境への配慮が重視されてきました。
問6	答え 1 多雨	「多雨」とは、年間降水量が非常に多い気候の状態を指します。紀伊山地は険しい地形とこの多雨な気候の影響で、古くからスギやヒノキなどの良質な木材を育てる「林業」が発達してきました。
問7	答え 3 神戸港	六甲山の山地と海との狭い平地を活用して、大規模な港湾施設や工業地帯が整備されました。これにより鉄鋼業や造船業、機械工業が急速に発達し、日本の経済成長を支える中心地となりました。
問8	答え 3 みかん	特に日照時間が長い斜面を利用した段々畑での栽培が盛んです。果実が日光をしっかりと浴びることで、糖度が高く良質なみかんが育ちます。このため、日本でも屈指の産地として有名です。
問9	答え 2 紀伊山地の霊場と参詣道	「紀伊山地の霊場と参詣道」は、吉野・大峯、熊野三山、高野山の3つの霊場と、そこに至る参詣道から構成されます。自然と信仰が一体化した文化的景観が評価され、2004年にユネスコの世界文化遺産に登録されました。
問10	答え 1 播州織	あらかじめ糸を染めてから織る「先染め」という技法が最大の特徴で、色鮮やかな模様や肌触りの良さが評価されています。かつてはハンカチやシャツの生地として全国的なシェアを誇っていました。
問11	答え 2 水運	「水運」とは、河川や湖、海を船で通って人や物を運ぶ交通方法のことです。淀川は、京都と大阪を結ぶ主要な大動脈であり、上方（京都・大阪）の物産を運ぶための重要なルートとして、多くの高瀬舟などが往来しました。米や酒などの特産品がこの川を通して運ばれたことで、流域は経済的に大きく発展しました。
問12	答え 3 生活用水	「生活用水」とは、家庭での炊事、洗濯、入浴、清掃など、日常生活のために使用される水のことです。淀川は、上流の琵琶湖からの水を安定して供給することで、大阪や京都、兵庫といった京阪神大都市圏の数百万人の市民の健康な生活を支えています。
問13	答え 2 伊勢神宮	伊勢神宮は、皇室の祖神である天照大御神をまつる「内宮」と、衣食住の神をまつる「外宮」などを中心とした神社の総称です。特に江戸時代には「お伊勢参り」が大ブームとなり、全国から庶民が訪れました。広大な森の中に社殿が建てられており、日本の伝統的な建築様式である「唯一神明造」で知られています。
問14	答え 4 淀川	琵琶湖から流れ出る瀬田川が、宇治川、桂川、木津川と合流して「淀川」となります。滋賀県から京都府を通り、大阪平野を抜けて大阪湾に注ぎます。流域には大都市が密集しているため、これらの住民にとって貴重な飲料水や生活用水を供給する重要な川となっています。
問15	答え 1 琵琶湖	琵琶湖は日本最大の湖で、滋賀県の面積の約6分の1を占めています。湖の形が楽器の琵琶に似ていることから名付けられました。周囲の山々から多くの川が流れ込み、唯一の流出河川である淀川へとつながっています。